

行 政 報 告

(令和 7 年第 3 回定例会)

(報告事項)

- 1 カムチャツカ半島付近の地震による津波避難対応について
- 2 農作物の生育状況について
- 3 令和 7 年 9 月 1 3 日の大雨・強風への対応及び公共施設等の被害について

令和 7 年 9 月 1 8 日

行政報告（令和7年第3回定例会）

令和7年第3回厚真町議会定例会にあたり、次の3点についてご報告申し上げます。

（カムチャツカ半島付近の地震による津波避難対応について）

最初に、7月30日に発生したカムチャツカ半島付近の地震による津波避難対応についてご報告申し上げます。

令和7年7月30日午前8時25分ごろ、カムチャツカ半島付近を震源とするマグニチュード8.8の地震が発生しました。日本国内での震度は、道東で震度2、北海道から九州の各地で震度1を観測しました。午前8時37分、当該地震に伴う津波に対して、北海道太平洋沿岸西部などに津波注意報が発表されました。この時点で本町へは津波予報（若干の海面変動）となり、町では防災行政無線等による住民への周知、消防との連携による海岸利用者への注意喚起を実施しました。

その後の午前9時40分、気象庁は本町を含む北海道太平洋沿岸部などに津波警報を発表しました。これを受け、町は直ちに第2種非常配備へ移行し、災害対策本部を設置しました。

午前9時55分、厚和、清住、浜厚真、共和、鹿沼の各地区のうち高規格道路以南の地域に対し避難指示（津波）を発令し、厚南会館および上厚真小学校を避難所として開設しました。当時の避難指示区域における住民数は16世帯33人でした。

午前11時10分、苫小牧東港において津波の第1波を観測、午後7時4分には最大波が到達、高さは最大0.5mでした。

午後8時45分、気象庁は本町を含む北海道太平洋沿岸部の津波警報を解除

し、津波注意報に変更となりました。これに伴い、町は全地区の避難指示を解除し、開設した2箇所の避難所を閉鎖、災害対策本部を廃止して第1種非常配備へ移行しました。

翌7月31日午後4時30分には津波注意報が解除されたことにともない、第1種注意配備を解除しました。

なお、今回の津波に対して本町を含む道内69市町村について災害救助法が適用されました。

本町において人的被害や住家被害等は確認されておりません。

今回の避難指示に対して、厚南会館では最大で102人、上厚真小学校では最大141人が避難しました。これは避難指示区域における住民数を大幅に上回る避難者数ではありますが、町内事業者、むかわ町の住民、旅行者、避難指示区域外からの避難者を含みます。このほか、高規格道路上の避難ポイントや道道千歳鵲川線沿いの豊丘マナビィハウス駐車場でも避難者を確認しています。

今回の津波避難対応について、8月に開催された「第1回厚真町津波防災地域づくり推進協議会」、住民・事業者との懇談会、災害対策本部各部における反省・振り返り会議、職員アンケートの実施等を通じて、課題や改善点を明確化し、各防災計画・マニュアルの見直しや訓練の実施にもつなげてまいります。

（農作物の生育状況について）

次に、農作物の生育状況についてご報告申し上げます。

胆振農業改良普及センター東胆振支所の調査によりますと、水稻の生育は8月15日時点で平年より10日早く、過去10年で最も早い生育となっております。㎡あたりの茎数は平年比91%とやや少ないものの、不稔率は「ななつぼし」で3.1%と、過去5年平均を下回る低い値となっております。今後の

収穫に向けては、倒伏による収穫への影響や品質低下が懸念されております。

農林水産省の発表では、今年の北海道産水稻の作柄は「前年並み」とされております。また、作況指数は本年産から「平年比」ではなく「前年比」で公表されております。

今後も高温が続いた場合、成熟期や収穫開始がさらに早まる見込みです。

秋まき小麦は、収穫が平年より7日早く始まり、7月23日に終了しました。日照は多かった一方、降水が少なかったため、粗麦重量はやや軽めです。現在の受入状況では、秋小麦・春小麦ともに等級麦比率は約89%となっております。

馬鈴薯は順調に収穫が進んでおり、1株あたりのいも数は多いものの、でん粉含量はやや低くなっております。大豆・小豆・てん菜もおおむね平年並みかやや早い生育で推移しており、病虫害も防除により抑制されております。

牧草は平年並みの収量と品質で、二番草の生育も順調です。飼料用トウモロコシは平年より5日ほど早く熟期を迎えております。

園芸作物では、ほうれん草は7月以降の障害により製品率が低下しておりますが、9月以降の回復が期待されております。カボチャやブロッコリーは食害や病害の影響で製品率が低下しております。花きは前進開花により出荷が早まり、製品率も低下傾向にあります。ハスカップは収量良好でしたが、高温の影響で収穫期間が短縮されました。

本年も、6月中旬から高温が続いております。今後も気象変動の影響が懸念される中、令和7年産米の価格は引き続き高値となることが見込まれていますが、今後とも生産費に見合った販売価格の確保と、安定生産が可能となるよう関係機関と連携してまいります。また、収穫作業の最盛期を迎えるにあたり、農作業事故の防止にも十分注意を呼びかけてまいります。

（令和 7 年 9 月 1 3 日の大雨・強風への対応及び公共施設等の被害について）

次に、9 月 1 3 日深夜から翌 1 4 日明け方にかけて発生した大雨・強風への対応状況及び公共施設等の被害状況についてご報告申し上げます。

9 月 1 3 日午後 2 時、気象庁の早期注意情報において大雨警報の発表確度が「高」とされたことから、夜間の降雨に備え、町は「注意配備」体制を敷き、災害対策連絡本部を設置の上、室蘭地方气象台等からの情報収集に努めました。

同日午後 4 時 5 0 分には、防災行政無線等を通じて大雨及び強風への注意喚起を実施し、防災担当を中心とした警戒体制を強化しました。

アメダスの観測によれば、1 3 日午後 6 時から翌 1 4 日午前 6 時までの 1 2 時間降水量は 3 0 ミリ、最も風が強かった 1 3 日午後 1 1 時から翌 1 4 日午前 0 時の時間帯における平均風速は毎秒 1 2 . 5 メートルでした。

9 月 1 4 日午前 6 時、天候の安定を確認したため、「注意配備」体制を解除しました。

今回の大雨・強風を受け、1 4 日から職員等による町内の被害状況確認を実施しています。現在までに確認された被害として、本郷いこいの森パークゴルフ場において土砂等の流入があり、当面の間、使用を中止しております。このほか、複数箇所で農作物の倒伏や倒木が確認されており、詳細は調査中です。幸いにも大事には至らなかった模様です。

以上ご報告申し上げます。